

木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業

# 公募説明会

2021年7月7日（水）

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
新エネルギー部 バイオマスグループ

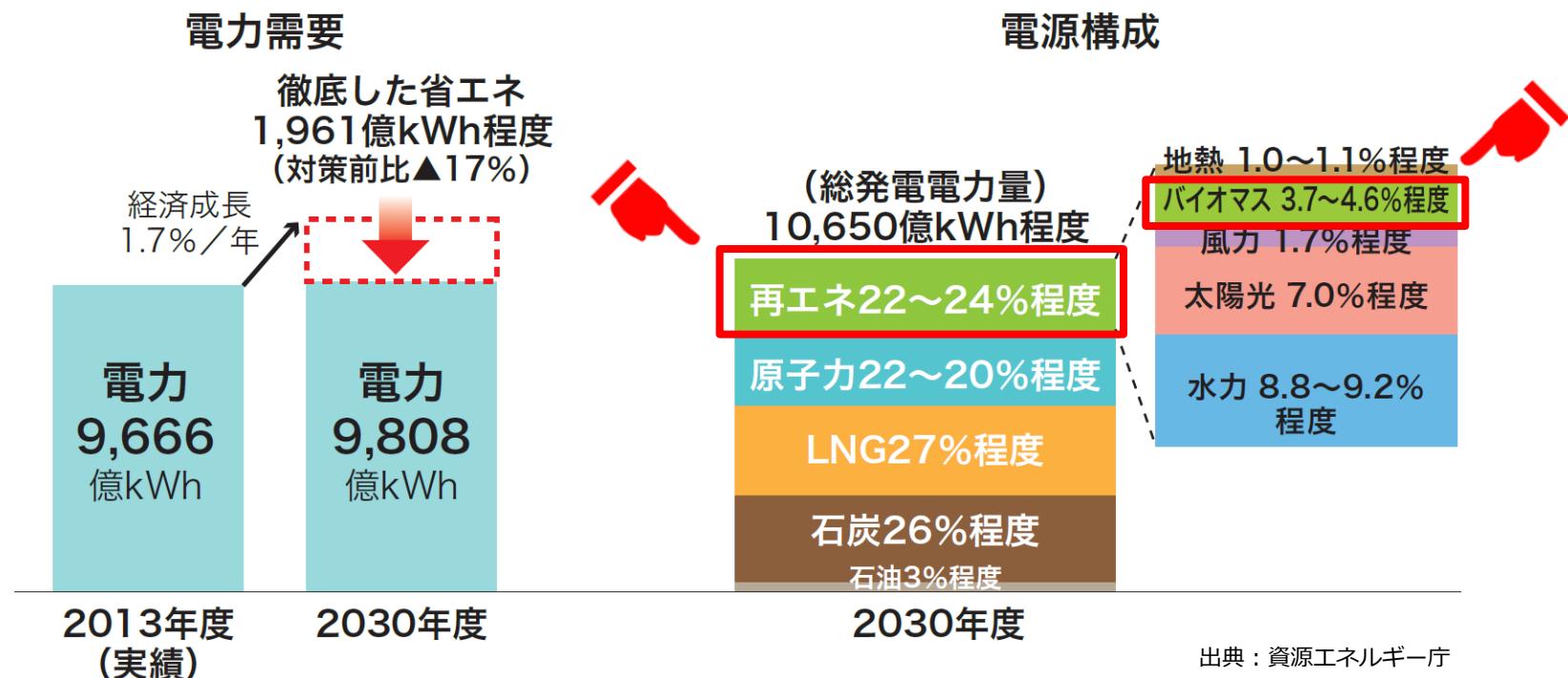
# 目次

1. 背景
2. 事業概要
3. 応募要領（抜粋）
4. 【助成事業】提案書記入上の注意点
5. 【委託事業】提案書記入上の注意点

## ◆政策上の位置付け

- **再生可能エネルギーの導入**は、**エネルギーセキュリティーの向上**及び**地球温暖化の防止**の観点から、**政府が主導して取り組むべき課題の一つ**として位置付けられている。
- 第5次エネルギー基本計画における2030年度の電源構成（エネルギー믹스）のうち、「再エネ」は22～24%の見通し、**「バイオマス」は3.7～4.6%を担う**

### 2030年度の電源構成（エネルギー믹스）



## ◆事業実施の背景（バイオマス発電と熱利用の促進）

【現状】 エネルギーミックスの達成に向けては道半ば（2020年9月時点、達成率71%）

【課題】 **・燃料の安定調達・持続可能性の担保**

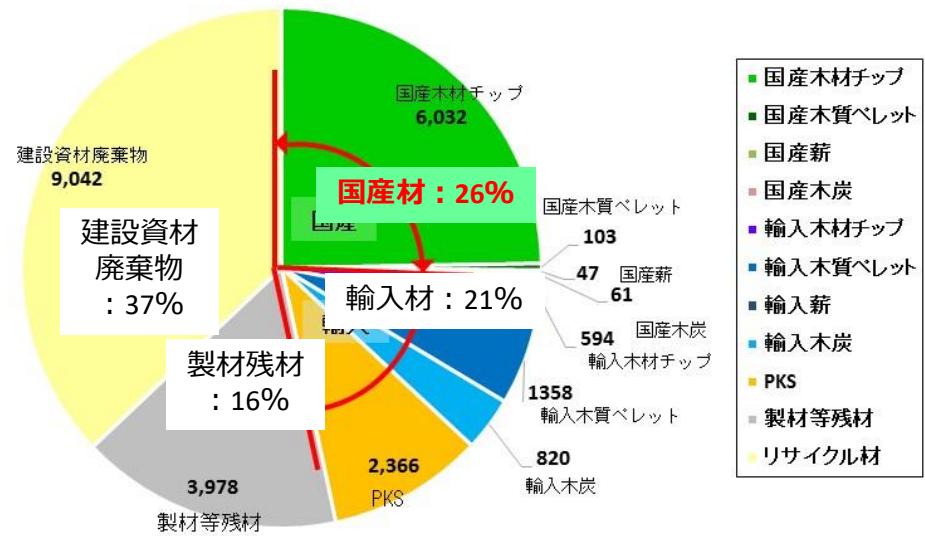
**・燃料費が大半を占める発電コストの低減**

⇒ **多くの未利用資源が存在する国産材の活用を促進することが重要**

(kW)	導入水準 (20年9月)	FIT前導入量 + FIT認定量 (20年9月)	ミックス (2030年度)	ミックスに 対する 導入進捗率
太陽光	5,800万	8,000万	6,400万	約91%
風力	440万	1,190万	1,000万	約44%
地熱	59万	63万	140～155万	約40%
中小水力	980万	997万	1,090～1,170万	約87%
<b>バイオ</b>	<b>470万</b>	<b>1,050万</b>	<b>602～728万</b>	<b>約71%</b>

平成30年 燃料材等消費量の内訳のイメージ

（単位：千m<sup>3</sup>）



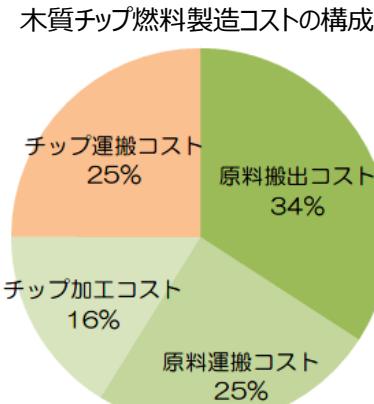
【出典】木材チップと木質ペレットの計（国産、輸入）、薪（国産、輸入）、木炭（国産、輸入）は、木材需給表  
木材チップと木質ペレットの内訳（国産、輸入）は、林野庁調べ  
製材等残材、建設資材廃棄物は、木質バイオマスエネルギー利用動向調査（係数2.2で原木換算）  
PKSは、貿易統計における輸入量（同列で比較するため輸入量=燃料利用、水分率15%、係数2.2で原木換算）

## エネルギーミックス達成状況

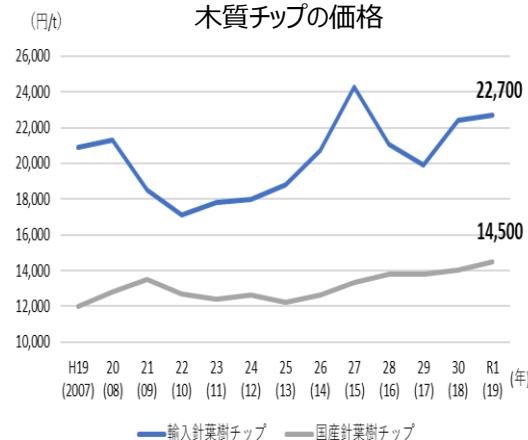
## ◆事業実施の背景（木質バイオマス活用における課題と対応について（概要）1/2）

【課題①】日本の木材は主に建材として利用され、燃料用途の木材が副次的な位置づけであるため、

- (1) 建材需要動向に左右され供給量の見通しが立たない
- (2) 針葉樹建材向けに形成された生産・輸送システムが燃料向けには過剰で非効率
- (3) 燃料としての品質を統一的に評価する仕組みが存在しない



出典：平成25年度木質バイオマス利用支援体制構築事業  
発電・熱供給・熱電併給推進のための調査



出典：木質バイオマスエネルギーデータブック2018

建材（A材、B材）が主流、燃料用途は二次的取扱。商慣行として、燃料用途のみを目的とした伐採は行われていない（安定供給上の支障）。

木質チップ燃料製造コスト構成のうち、運搬コストと加工コストが全体の約2/3を占める。（製造・輸送システムの効率化が必要）。

発電所での需要増により国産チップの利用量・価格は上昇傾向。また、燃料材は、発電所が長期的に一定額で購入する形をとっているため、どんな燃料材が来ても、基本的には決まった購入価格で取引されている状況。  
(品質規格が存在しない)

## ◆事業実施の背景 (木質バイオマス活用における課題と対応について (概要) 2/2 )

### 【課題②】

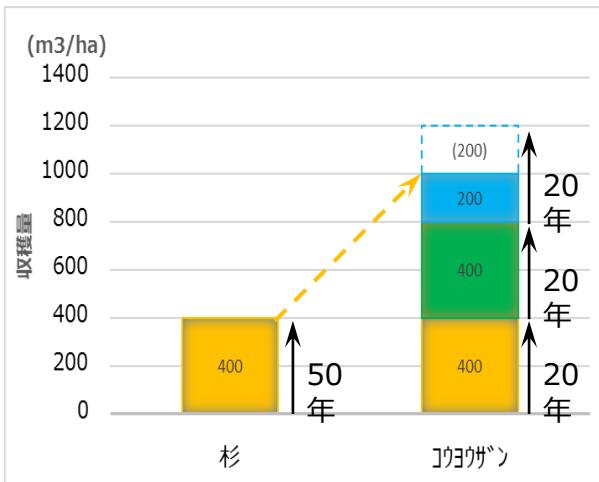
- (1) 広葉樹は、資源量は豊富だが**活用が進んでいないのが現状**  
 (2) 早生樹等は、成長が早く萌芽特性※を持つため育林作業が低減可能だが、**活用手法が未確立**

※萌芽特性：切り株等から新たに芽が出る性質

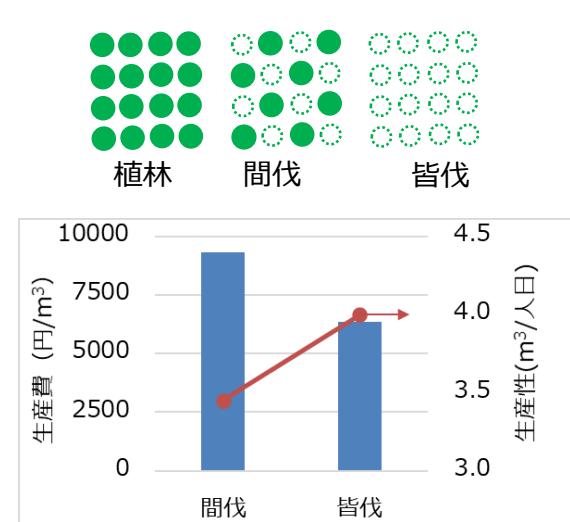
### 【対応策】

- ・**当初から燃料用途の森を目指し、計画的に広葉樹・早生樹等を育成 (燃料ポテンシャルの開拓)**
- ・**燃料用途に最適なサプライチェーンの構築 (運搬・加工システムを燃料材向けに最適化)**
- ・**品質規格の策定 (国内の樹種や利用形態に適した品質規格を策定)**

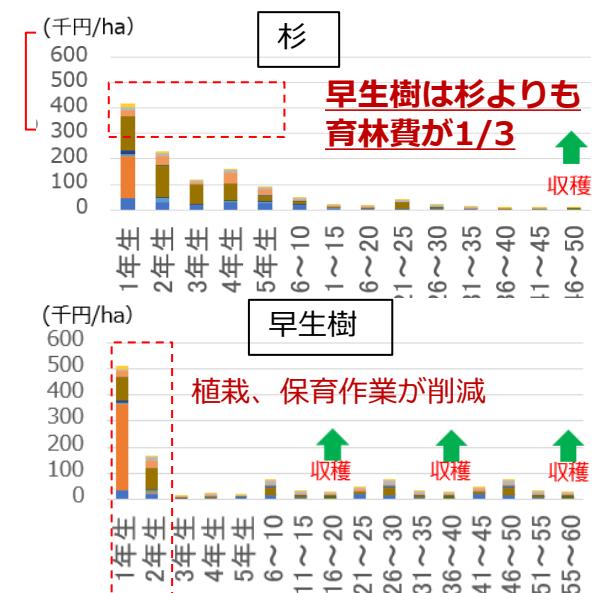
＜早生樹の収穫量＞  
**早生樹は、成長が早く  
 鈿葉樹の2.5倍の収穫量**



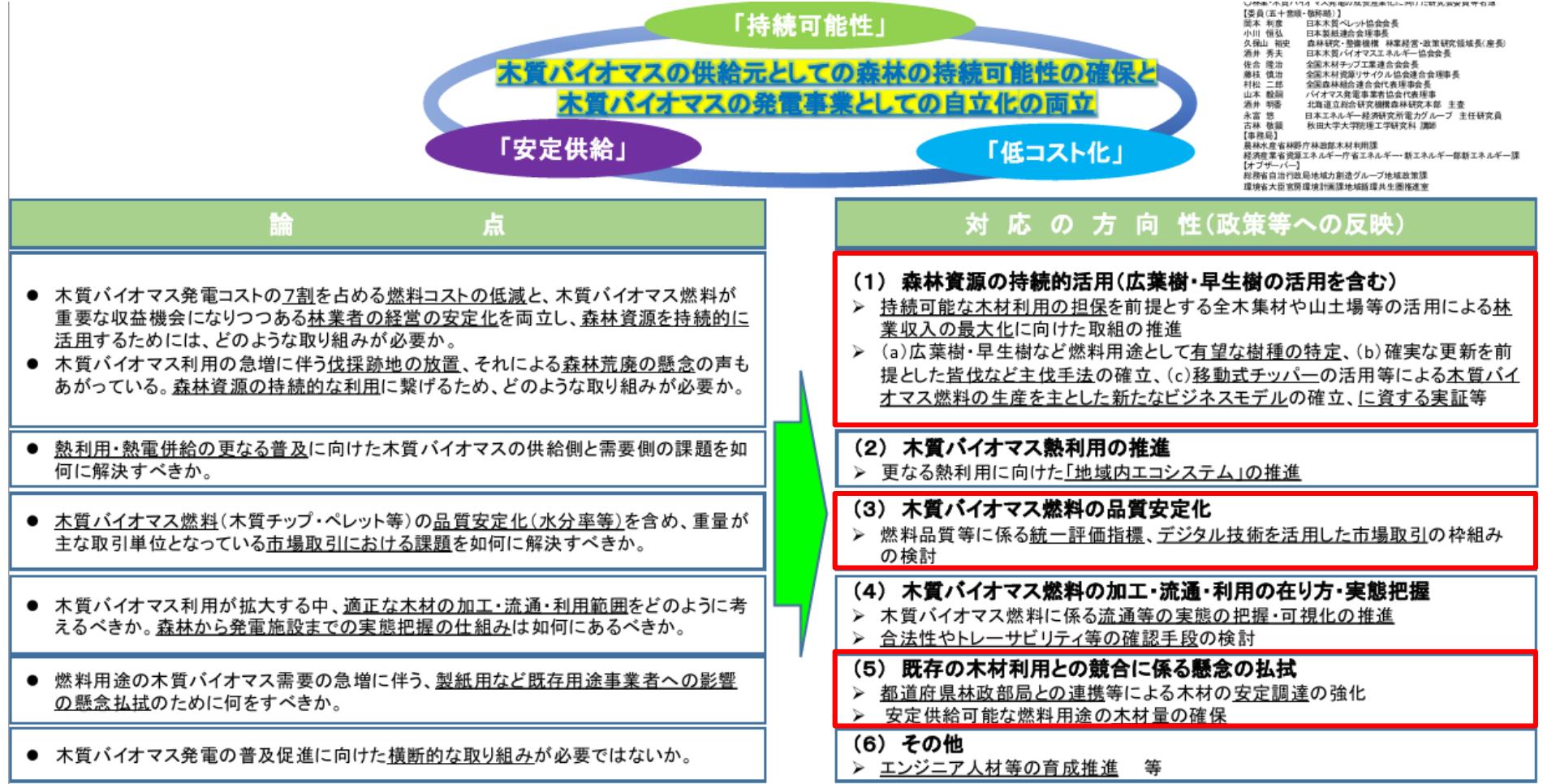
＜間伐・皆伐のイメージ＞  
**皆伐は間伐に比べて生産性が良くコストが2/3**



＜木材育成費削減のイメージ＞



## 【参考】経済産業省「林業・木質バイオマス発電の成長産業化に向けた研究会」取り纏め概要



出典：経済産業省「林業・木質バイオマス発電の成長産業化に向けた研究会」報告書

## ご注意

- 本事業への応募は、NEDOへの書類提出に加え、**府省共通研究管理システム（e-Rad）**への研究機関及び研究者代表者登録、応募基本情報の入力が必要です。（機関承認が必要な事業です）
- e-Rad で登録手続きを行わないと応募ができません。研究登録手続きに時間をする場合がありますので、余裕をもって登録手続きをしてください。（提案書・申請書ご提出日には登録手続きを完了して下さい）
- 応募内容提案書は代表して一法人からの登録となります、**法人ごとにe-Rad IDの取得が必要となります。**
- 今回の事業への申請に当たって、電子申請を行い、e-Radに登録した「e-Rad応募内容提案書」をダウンロードし、NEDOへ提出して下さい。  
※本公司要領での**研究者、研究機関は実施者、実施事業者を示すものとします。**

## ご注意

### 【提出先および提出方法】

- Web 入力フォームから、必要情報の入力と提出書類（「4. 提出期限及び提出先(4)提出書類）のアップロードを行ってください。
- <Web 入力フォーム> <https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/rvql1hosif>
- 他の提出方法（持参・郵送・FAX・電子メール等）は受け付けません。
- 提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。また、再提出の場合は再度、全資料を再提出してください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- アップロードするファイルは、全てPDF 形式で、一つのzip ファイルにまとめてください。

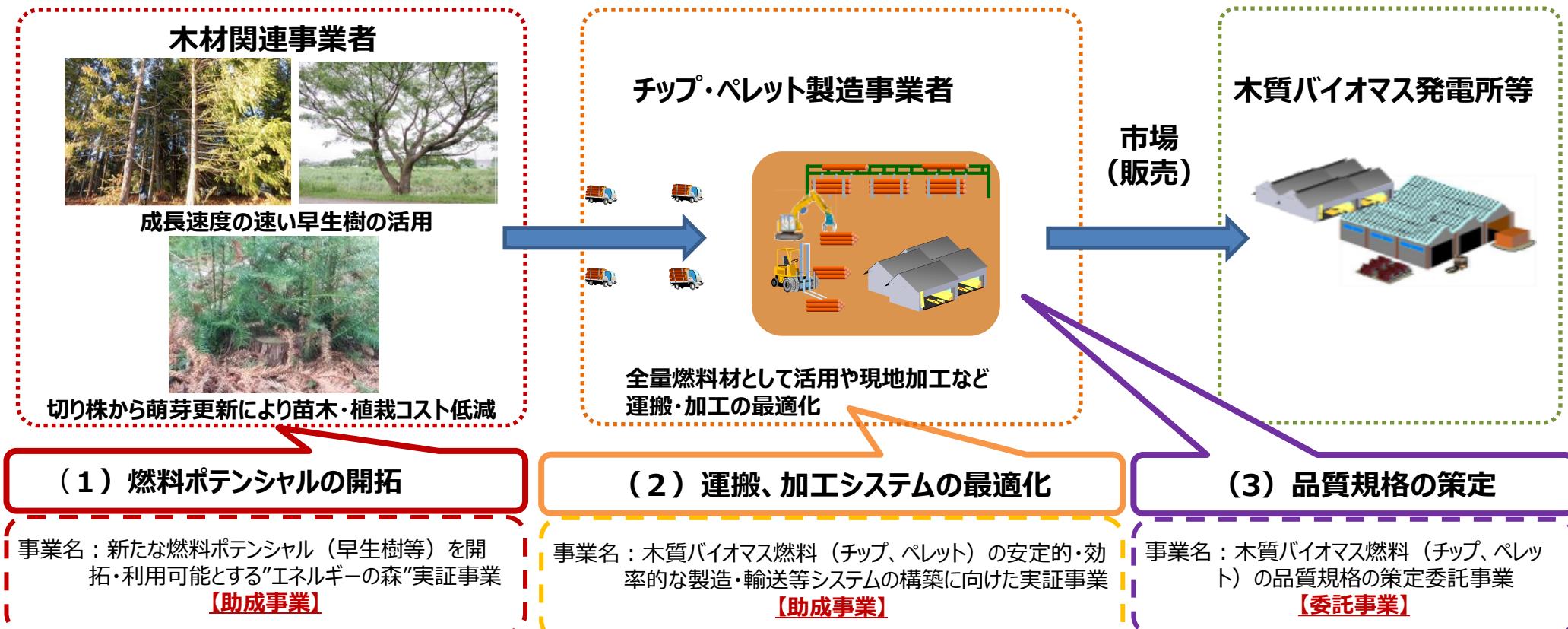
### 【留意事項】

- 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるため、受付期間内に完了させてください。
- 入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

## 2. 事業概要 - 抜粋 -

### 目的

森林・林業等と持続可能な形で共生する木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システムの構築・商慣行定着



※ **事業項目(1)、(2)の同時提案も可。**

但し、同時提案の場合であっても、片方のみが採択される可能性があります。

## 2. 事業概要 - 抜粋 -

助成事業（実証事業）



### 研究開発項目①：

新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業

**早生樹等の活用拡大**に向け、育林に適した樹木を選定の上、**日本の気候帯4つ（亞寒帯、温帯、亞熱帯、内陸性気候）毎**に、地域に適した**植林・育林・伐採・搬出方法の選定**を行う。例えば、皆伐、下刈り回数の低減、自然萌芽利用によるコスト低減など、生産システム最適化に向けた実証を行う。



林野庁「平成27年度森林・林業白書」の図を改変

## 2. 事業概要 - 抜粋 -

助成事業（実証事業）



### 研究開発項目①：

#### 新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業

対象とする樹種は、原則として下表から選定頂きます。

但し、下表以外の樹種であっても、バイオマス燃料としての優位性や事業採算性が十分に確認されている場合、提案可とします。

なお、**樹種の選定に当たっては、外来種の栽培や実証事業後の森林整備事業の活用等自治体との連携が必要と思われる場合、事前に自治体と相談することを推奨します。**

- ◎ : バイオマス生産樹種として適當
- : 栽培は可能。事業採算性は要検討
- : 地域によっては栽培可能。事業採算性は要検討
- † : 外来種

区分	亜寒帯気候 (北海道、東北地方)		亜熱帯気候 (沖縄県)		内陸性気候 (中央高地 (長野県・山梨県・岐阜県北部等))		温帯気候 (左記以外)	
タイプA 短期間でのバイオマス供給拡大	・ ヤナギ類	◎	・ ユーカリ類	○ †	・ ヤナギ類	○	・ ヤナギ類 ・ ユーカリ類	○ ○ †
タイプB 未利用広葉樹林による供給拡大	・ ナラ類	○	・ ガジュマル ・ アコウ ・ ビロウ	○ ○ ○	・ ナラ類	○	・ ナラ類 ・ シイ類 ・ カシ類	○ ○ ○
タイプC 早成樹利用による中長期的な供給拡大	・ ホオノキ ・ ケンポナシ ・ クワ ・ キリ ・ シラカンバ ・ コウヨウザン ・ センダン ・ ハンノキ	○ ● ● ● ○ ● ● ●	・ コウヨウザン ・ センダン ・ アカシア類 ・ ウラジロエノキ ・ ハマセンダン ・ ハンノキ	○ † ○ ○ † ○ ○ ○	・ ホオノキ ・ ユリノキ ・ ケンポナシ ・ クワ ・ キリ ・ ハンノキ	○ ○ † ○ ○ ○ ○	・ コウヨウザン ・ チャンチンモドキ ・ ホオノキ ・ ユリノキ ・ センダン ・ ケンポナシ ・ クワ ・ キリ ・ アカシア類 ・ ハマセンダン ・ チャンチン ・ ハンノキ	○ † ● ○ ○ † ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ○ † ○

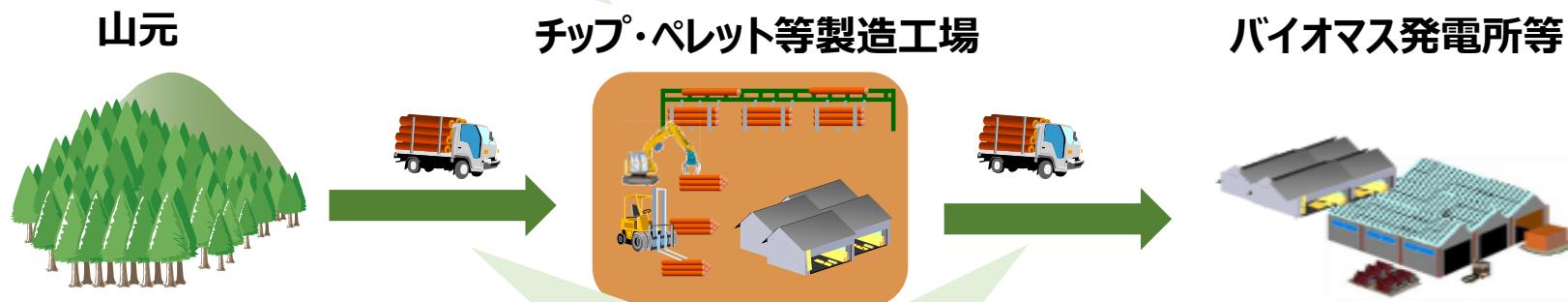
### 研究開発項目②：

バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業

#### バイオマス燃料の生産システム全体の安定化・効率化

- 小規模移動式チッパー、パッカー車等の技術開発や、安定供給や品質向上等に資するICT技術の高度利用など、山場から燃料加工工場や発電所等までの輸送工程の低コスト化等に資する技術開発と実証
- 広葉樹向け燃料化設備や、乾燥加工システムなど、GHG削減や効率化等に資する燃料用途樹種に適した製造・加工技術開発と実証
- 開発技術の対象樹種（適用範囲）は、原則として前頁表の樹種の何れかに適用可能なものとする。

- ・広葉樹向け燃料化設備
- ・乾燥加工システム等



- ・輸送方法の最適化に関する技術開発（チッパー車/パッカー車/IoT・ICT活用等）等

### 研究開発項目③：

#### 燃料材（チップ、ペレット）の品質規格の策定委託事業

燃料としての品質（水分量等）を統一的に評価する仕組みが存在しない等の課題へ対応

- 1) 燃料材（チップ、ペレット）の品質の規格化
- 2) 燃料材（チップ、ペレット）の水分量、サイズや灰分濃度等のグレード分けや市場取引をする際のルール、運用制度等の整備

### ＜仕様書 概要＞

※仕様書の記載項目は最低限実施する内容

#### ① 品質規格と運用制度策定に係る調査

- 1) 国内業界の実態と考え方に関する調査
- 2) 海外の実態に関する調査
- 3) 早生樹等の活用に関する調査
- 4) 原料の材質及び成分に関する調査
- 5) 調査報告書と品質規格の作成

#### ② 品質規格と運用制度の策定

- 1) 品質規格の策定
- 2) 品質以外の重要事項の取扱に関する検討
- 3) 運用方法、認証の在り方、インセンティブ等に関する検討と運用制度の策定

#### ③ 品質規格の普及に関する取り組み

- 1) ガイドライン等の作成、シンポジウムや講習会の開催、品質規格試行運用の検討など

#### ④ 外部有識者による評価

## 2. 事業概要 - 抜粋 -

助成事業（実証事業）

委託事業（品質規格）



### ○ 事業期間

公募要領 該当ページ※

① : P4 ② : P4 ③ : P2

※ 以下、公募要領ページ数記載に当る略称

- ・未利用材の早生樹等（針葉樹、広葉樹）新たな燃料ポテンシャルを開拓・利用可能とする“エネルギーの森” 実証事業：①
- ・バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業：②
- ・燃料材（チップ、ペレット）の品質規格の策定委託事業：③

#### 研究開発項目① :

未利用材の早生樹等（針葉樹、広葉樹）新たな燃料ポтенシャルを開拓・利用可能とする“エネルギーの森”  
実証事業

4年以内

#### 研究開発項目② :

バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業

3年以内

#### 研究開発項目③ :

燃料材（チップ、ペレット）の品質規格の策定委託事業

2年以内

## ○ 事業規模

公募要領 該当ページ

① : P4 ② : P4 ③ : -

### 研究開発項目① :

未利用材の早生樹等（針葉樹、広葉樹）新たな燃料ポテンシャルを開拓・利用可能とする“エネルギーの森”  
実証事業

- ・助成率：2/3
- ・2021年度事業総額：**370百万円程度**(NEDO負担分)  
(1件当たり**200百万円／年**程度を上限)

### 研究開発項目② :

バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業

- ・助成率：2/3
- ・2021年度事業総額：**770百万円程度**(NEDO負担分)  
(1件当たり**400百万円／年**程度を上限)

※ **助成金は審査の結果及び国の予算の変更等により提案額から減額して交付することがあります。**

※ 助成の対象となる費用は、**課題設定型産業技術開発費助成金交付規程第6条**に示すとおりです。

### ○ 事業規模

公募要領 該当ページ  
① : - ② : - ③ : P2

**研究開発項目③ :**  
**燃料材（チップ、ペレット）の品質規格の策定委託事業**

- ・ 委託事業（100%NEDO負担）
- ・ 2021年度事業総額 **100百万円程度**  
(1件当たり**50百万円／年**程度を上限)

## 2. 事業概要 - 抜粋 -

助成事業（実証事業）

委託事業（品質規格）



### ○ 事業スキーム図

公募要領 該当ページ

① : P5 ② : P5 ③ : P2

#### 【実証事業】



助成(2/3以内)



委託



#### 【品質規格策定事業】



委託



再委託



※共同提案の場合は技術力を有する極力少数の企業等による役割分担の  
明確な開発体制が望ましいです。

※助成事業について、再委託は認めておりません。

※委託事業について、再々委託は認めておりません。

### 3. (1) 助成対象事業者

公募要領 該当ページ

① : P5 ② : P4-5 ③ : -

助成事業者は、単独ないし複数で助成を希望する、原則本邦の企業、大学等の研究機関であることが必要です。

- i. 助成事業を的確に遂行するに足る**技術的能力を有すること**
- ii. 助成事業を的確に遂行するのに必要な費用のうち、**自己負担分の調達に十分な経理的基礎を有すること。**
- iii. 助成事業に係る**経理その他の事務について的確な管理体制及び処理能力を有すること。**
- iv. 当該助成事業者が遂行する助成事業が、**別途定める基本計画を達成するため**に十分に有効な**研究開発を行うものであること。**
- v. 当該助成事業者が**助成事業に係る企業化に対する具体的計画（コンソーシアムの形成等）**を有し、**その実施に必要な能力を有すること。**
- vi. 当該助成事業者が助成事業を**国際連携による共同研究**案件として実施することを目指している場合は、連携する国外の企業等（助成対象事業者には含まない）と**共同研究にかかる契約・協定等を締結すること**（又は連携の具体的予定を示すこと）ができること。また、**知財権の取扱いを適切に交渉、管理する能力を有すること。**

### 3. (2) 助成対象事業

公募要領 該当ページ

① : P5-6 ② : P5 ③ : -

助成事業として次の要件を満たすことが必要です。

- i. 助成対象事業は、**基本計画に定められている事業計画の内、助成事業として定められている事業項目の実証事業**であること。
- ii. 助成事業終了後、直ちに実用化を目指すまでの開発計画、投資計画、実用化能力の説明を行うこと。
- iii. 助成対象事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明を行うこと。（我が国産業の競争力強化及び新規産業創出・新規起業促進への貢献の大きな提案を優先的に採択します。）
- iv. 当該助成事業終了後、追跡調査や特許等の取得状況及び事業化状況調査に御協力いただく場合があります。
- v. 助成事業の事務処理については、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施すること。

### 3. 応募要件 - 抜粋 -

委託事業（品質規格）



公募要領 該当ページ

① : - ② : - ③ : P3

- (1) 当該技術又は関連技術の研究開発の実績を有し、かつ、研究開発目標達成及び研究計画遂行に必要となる組織、人員等を有していること。
- (2) 委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金及び設備等の十分な管理能力を有していること。
- (3) NEDOがプロジェクトを推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。
- (4) 企業等が単独でプロジェクトに応募する場合は、当該プロジェクトの研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。
- (5) 研究組合、公益法人等が代表して応募する場合は、参画する各企業等が当該プロジェクトの研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有するとともに、応募する研究組合等とそこに参画する企業等の責任と役割が明確化されていること。
- (6) 当該プロジェクトの全部又は一部を複数の企業等が共同して実施する場合は、各企業等が当該プロジェクトの研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有しており、各企業等間の責任と役割が明確化されていること。
- (7) 本邦の企業等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業等の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外企業等との連携が必要な場合は、国外企業等との連携により実施することができる。

## 4. 提出期限及び提出先 - 抜粋 -

助成事業（実証事業）

委託事業（品質規格）

- 公募要領に従い提案書を作成し、**Web入力フォームからご提出**下さい。

公募要領 該当ページ  
① : P6-8 ② : P5-7 ③ : P3-5

**URL:** <https://app23.infoc.nedo.go.jp/qa/enquetes/rvqlly1hosizf>

**【提出期限】 2021年7月29日（木）正午必着**

**【提出先および提出方法】**

- **Web 入力フォームから、必要情報の入力と提出書類のアップロード**を行ってください。
- **提出時に受付番号を付与します。**再提出時には、初回の受付番号を入力してください。  
また、再提出の場合は再度、全資料を再提出してください。
- **再提出は受付期間内であれば何度でも可能**です。  
同一の提案者から複数の提案書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- **アップロードするファイルは、全てPDF 形式で、一つのzip ファイル**にまとめてください。

**【留意事項】**

- 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号表示までを、期間内に完了させてください。
- 入力・アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。  
特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

※ **助成事業の公募要領中、本項の記述において誤記がありましたので、7/2付けて資料を差替えています。**  
**大変申し訳ありませんが、7/2以前に公募要領をダウンロードされた方は再度ダウンロードをお願いします。**  
**(変更内容)「研究開発項目①・②を同時に応募頂く場合、提案書は1通にまとめてください。」の記述を削除**

公募要領 該当ページ

(1) : P8 (2) : P7 (3) : P5

## (1) 提案書類の受理及び提案書類に不備があった場合

- 応募要件に合わない提案者の提案書又は不備がある提案書は受理できません。
- 提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- 無効となった提案書・その他の書類は、NEDOにて破棄させていただきます。

## (2) 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）への登録

- 応募に際し、併せてe-Rad へ応募内容提案書を申請することが必要です。共同提案の場合には、代表して一法人から登録を行ってください。詳細は、e-Rad ポータルサイトを御確認ください。

e-Rad ポータルサイト： <http://www.e-rad.go.jp/>

## (1) 審査の方法について

公募要領 該当ページ

① : P8 ② : P8 ③ : P6

- **外部有識者による採択審査委員会とNEDO内に設置する契約・助成審査委員会の二段階で審査します。**
  - 採択審査委員会では、提案書の内容について審査し、本事業の目的の達成に有効と認められる事業者候補を選定します。
  - 契約助成委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。
  - **必要に応じてヒアリング審査や資料の追加等をお願いする場合があります。**
  - 助成事業者の選定は非公開で行われ、**審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられません。**
- 
- ※ 採択審査委員会は**8/31(火)**に実施予定です。
  - ※ 採択審査委員会においてヒアリング審査を行う場合は、**8/24(火)**までに対象事業者様へご連絡させて頂く予定です。

## (2) 審査基準

採択審査では、次の視点から審査します。

公募要領 該当ページ

① : P8-9 ② : P8-9 ③ : -

### i. 事業者評価

- 助成事業を遂行する経験、技術的能力、ノウハウを有しているか。なお、技術的能力には既設設備を有效地に利用する工夫が為されている点を含む。
- 財務能力を有しているか。（提案されている実証事業規模を実施可能か）
- 経理等事務管理、処理能力を有しているか。
- 実証事業を遂行できる体制であるか。

### ii. 事業化評価（実用化評価）

- 木質バイオマス燃料等の安定供給（燃料用途に適した樹種の拡大や利用等）・低コスト化等に資する取り組みであるか。
- 客観的な事前検証の実施が十分であるか。
- 技術的先進性および地域特性の活用とその普及性のバランス等を考慮したシステム構築を目指しているか。
- 事業採算性が確保され、収益性が高い事業モデルとなっているか。
- 自立化や横展開の可能性が見込まれるか。

### iii. 企業化能力評価

- 事業の想定において、課題・障壁およびその解決アプローチが整理されているか。
- 助成期間終了後も、バイオマス等、原料の長期確保や生産物の長期利用が見込めるか。

## (2) 審査基準

採択審査では、次の視点から審査します。

公募要領 該当ページ

① : P8-9 ② : P8-9 ③ : -

### iv. 技術評価

- ・ 長期運用可能となる技術を採用しているか。
- ・ 高効率な技術を採用しているか。
- ・ 効率化等に資する技術開発が見込めるか。
- ・ 保有特許等による優位性を確保しているか。

### v. 社会的目標への対応の妥当性

- ・ バイオマスの利用拡大および持続的拡大に貢献するか。
- ・ 地域の課題解決に貢献するか。
- ・ 地域との合意形成について検討されているか。

## (2) 審査基準

採択審査では、次の視点から審査します。

公募要領 該当ページ

① : - ② : - ③ : P6

### i. 提案書の内容について

- ・当該委託事業の目標がNEDOの意図と合致していること。
- ・当該委託事業の方法、内容等が優れていること。
- ・当該委託事業の経済性が優れていること。

### ii. 事業者の遂行能力について

- ・当該分野の業務に関する実績を有していること。
- ・当該委託事業を行う体制が整っていること。
- ・経営基盤が確立していること。
- ・当該委託事業に必要な研究員等を有していること。
- ・その他委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

### iii. ワーク・ライフ・バランス等推進企業について

- ・女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点評価されることとなります。

## 7.(1) 研究開発計画の変更について

ステージゲート方式の採用等により、研究開発の途中段階にて**実施内容の見直しや、研究開発を中止する**場合があります。

公募要領 該当ページ

① : P11-15 ② : P10-14 ③ : -

## 7.(2) 企業化状況報告書等の提出

採択された事業にあっては、**助成事業完了後に企業化**に努めていただくとともに、5年後までの企業化状況報告書を毎年度提出していただきます。また、助成事業の成果を踏まえた当該助成事業に係る事業化計画書等を提出していただくことがあります。

## 7.(3) 収益納付

当該助成事業の企業化等により、収益が生じたと認められたときは交付した助成金の全部又は一部に相当する金額を納付していただくことがあります。

## 7.(4) 処分制限財産の取扱い

助成金執行の適正化の観点から、助成事業で取得した**機械装置等の取得財産には処分制限**があります。（交付規程第16条）

## 7.(5) 主任研究者研究経歴書

助成事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴書に記載していました。

公募要領 該当ページ

① : P11-15 ② : P10-14 ③ : -

## 7.(6) NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票の記入

過去に実施したNEDOの研究開発プロジェクトの成果について調査票に記載していました。なお、本調査は採択審査に活用しますので、必ず提出をお願いいたします。

## 7.(7) 追跡調査・評価

助成事業終了後、追跡調査・評価に御協力いただく場合がございますので御協力をお願い申し上げます。追跡調査・評価については、本文添付の**参考資料1「追跡調査・評価の概要」**を御覧願います。

また、特許等の取得状況及び事業化状況調査についても、御協力をいただく場合がございます。

### 7.(10) 交付決定の取り消し

申請内容の虚偽、助成金の重複受給等が判明した場合、交付決定後であっても交付決定を取り消し、助成金の返還を求めることがあります。

公募要領 該当ページ

① : P11-15 ② : P10-14 ③ : -

- 当該研究費について、不正行為の重大性などを考慮しつつ、**全部又は一部を返還**していただくことがあります。（詳しくは、公募要領の箇条7.(11)及び(12)をご覧ください）

公募要領 該当ページ

① : - ② : - ③ : P7-13

## 7. (1) 契約

新規に業務委託契約を締結するときは、**最新の業務委託契約約款**を適用します。また、委託業務の事務処理は、NEDOが提示する**委託業務事務処理マニュアル**に基づき実施していただきます。

約款・様式 <http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

マニュアル <http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

## 7. (3) 研究開発計画の見直しや中止

ステージゲート方式の採用により、研究開発の途中段階にて**実施内容の見直しや研究開発を中止**する場合があります。

## 7. (4) 事業化計画書

契約締結後に業務委託契約約款第27条第2項又は共同研究契約約款第29条第2項に該当する事象が生じた場合は、速やかに**「研究開発成果の事業化計画書」(別添2)を変更し提出**していただきます。

公募要領 該当ページ

① : - ② : - ③ : P7-13

## 7. (8) N E D O 事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票

提案書の実施体制に記載する全ての提案者（再委託等は除く。）において、プロジェクトを遂行する上で取得又は知り得た保護すべき一切の情報（機微情報）に関して、機微情報の保持に留意して漏えい等防止する責任を負うことから、提案時又は契約締結時に予定する関係規程の整備や機微情報を取扱う者の体制の構築等についての確認表を提出していただきます。

詳細は、**別添6**を御覧ください。

## 7. (19) 重複の排除

国(国立研究開発法人等を含む)が助成する他の制度(補助金、委託費等)において、過去実施した事業または現在実施中の事業と今回提案された事業が、同一の提案者による同一の研究開発課題(配分される研究開発の名称及びその内容をいう。)と判断された場合、採択は行いません。

- 当該研究費について、不正行為の重大性などを考慮しつつ、**全部又は一部を返還**していただくことがあります。（詳しくは、公募要領の箇条7. (13)及び(14)をご覧ください）

公募要領 該当ページ

① : P11 ② : P10 ③ : P7

2021 年

公募開始 : 6月29日

公募説明会 : 7月7日

**公募締め切り : 7月29日12時**

審査期間 : 8月上旬～9月上旬

採択審査委員会 : 8月31日（予定）

**交付決定(助成)/契約締結(委託) : 9月下旬～10月中旬**

公募要領 該当ページ

① : P15-16 ② : P15 ③ : P14

事業の内容及び契約に関する質問等は説明会で受け付けます。

それ以降のお問い合わせは、**2021年7月14日（水）**までに限りメールにて受付けます。

ただし審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

件名に**「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業の公募に関する問い合わせ」と記載**の上、以下の宛先にお送りください。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

新エネルギー部 バイオマスグループ 古川・岩橋・宇田・河目・岩佐・堀田

メール : bio-forest@nedo.go.jp

# 【実証事業（助成事業）】

## 提案書記入上の注意点

- ・ 提案書は、**公募要領様式第1の記載例**に従って記入して下さい。
- ・ **提案書（様式第1）は本文（Word形式）と、プレゼン資料（PowerPoint形式）両者を作成ください。**

## 「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業／

①新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする”エネルギーの森”実証事業

②木質バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築  
に向けた実証事業」

事業者  
ロゴマーク

### 【発表資料作成の注意点】

(1)20分程度の発表を想定

(2)全体で20枚程度

(3)文字サイズは原則18pt以上

（個別で指定があるスライドを除く）

(4)白黒印刷で調整するため、背景は白基調の色

- ・①または②を選択ください
- ・同時応募の場合はそれぞれ  
作成ください

「〇〇〇〇〇〇の実証事業」

2021年〇月〇〇日(〇)

〇〇〇〇〇〇〇 (法人名)

# 1. 提案者の概要

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

(1)提案者名（法人番号）

(2)従業員数（うち研究開発部門従事者数）  
**従業員数は提出時点を基準としてください。**

(3)大企業・中堅・中小・ベンチャー企業の種別 **○○企業**

(4)現在の主要事業内容（主な製品等）  
**現在の事業内容（主な製品等）を記入してください。**

(5)資本金、売上高（直近3期分）、経常利益（直近3期分）

資本金	○○千円	○○千円
売上高	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）
経常利益	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）

## 2. 実施計画の細目

### (1)事業目的、目標及び事業による効果

事業者  
ロゴマーク

#### (記載例)

##### ①事業目的

マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等について具体的かつ簡潔に説明してください。  
(地域・提案者の課題についても言及してください。)

##### ②事業目標

実証事業の目標（資源増加量やコスト低減、G H G 削減効果等）と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。

さらに、NEDOの基本計画を達成するために基本計画と実証事業テーマとの関係ならびに実証事業テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。

## 2. 実施計画の細目

### (1)事業目的、目標及び事業による効果

事業者  
ロゴマーク

#### (記載例)

##### ③事業による効果

一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。

④他の補助金制度等による交付金受給の有無（当該研究開発の全てもしくは一部及び当該研究開発に関連した開発で、これまでに国、NEDO、地方自治体等からの委託又は補助金交付を受けたことがある場合あるいは現在申請中の場合には、その概要を明記すること。）

国、NEDO、地方自治体を問わず、過去から現時点で関連しているものを不採択になつた案件を含め、全て記述してください。また、現時点で申請中の案件も記述してください。記述内容としては、実施機関の名称、制度名称、対象期間、交付金の額等をお書きください。

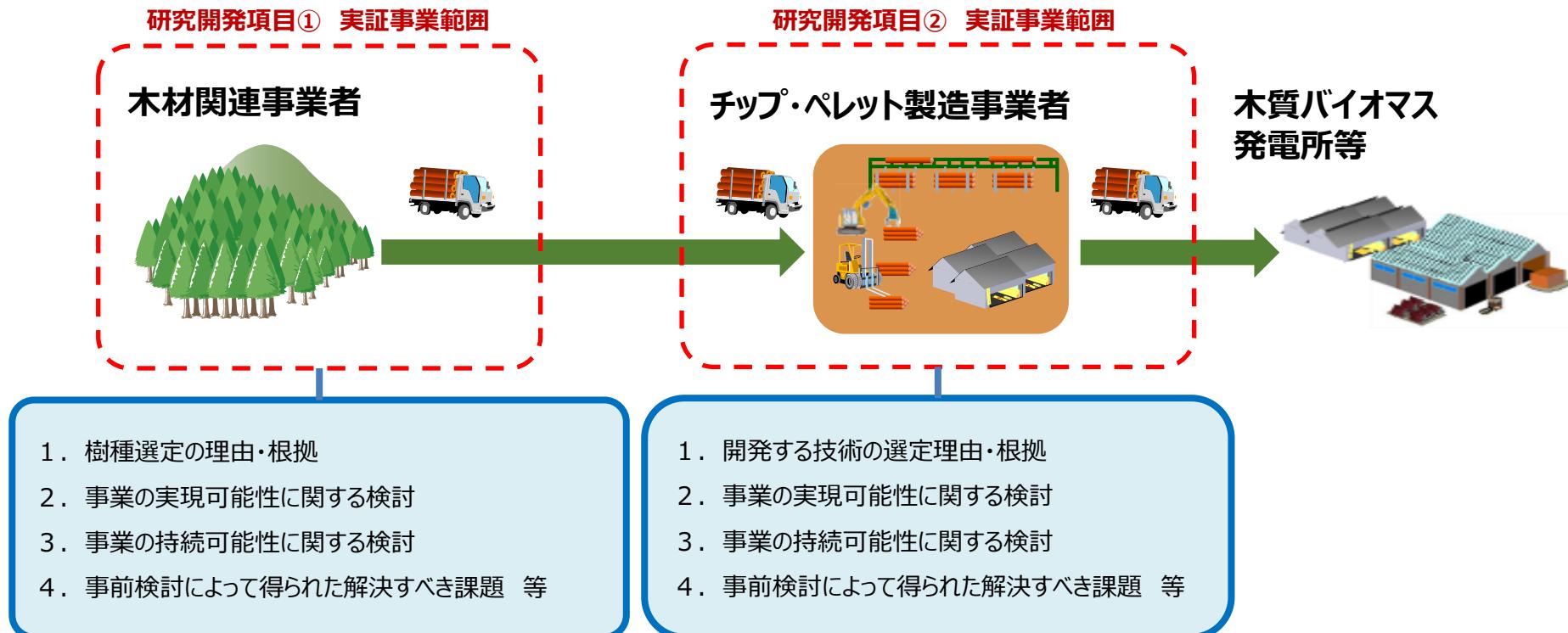
## 2. 実施計画の細目 (2)事前検証の状況

文字サイズは原則12pt以上

事業者  
ロゴマーク

### (記載例)

**事前検証の状況**について図表を用いて、可能な限り既存の研究成果等客観的な根拠・データを用いて具体的に記述してください（複数枚可）。



## 2. 実施計画の細目

### (3)事業概要

文字サイズは原則12pt以上

事業者  
ロゴマーク

#### (記載例)

「新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業」の場合

今回提案する実証事業内容について図表を用いて記載してください。記載に当たっては目標に対して各工程がどのように貢献するか具体的かつ定量的に記載下さい。（複数枚可）

A～Dの部分提案も可とします。



## 2. 実施計画の細目

### (3)事業概要

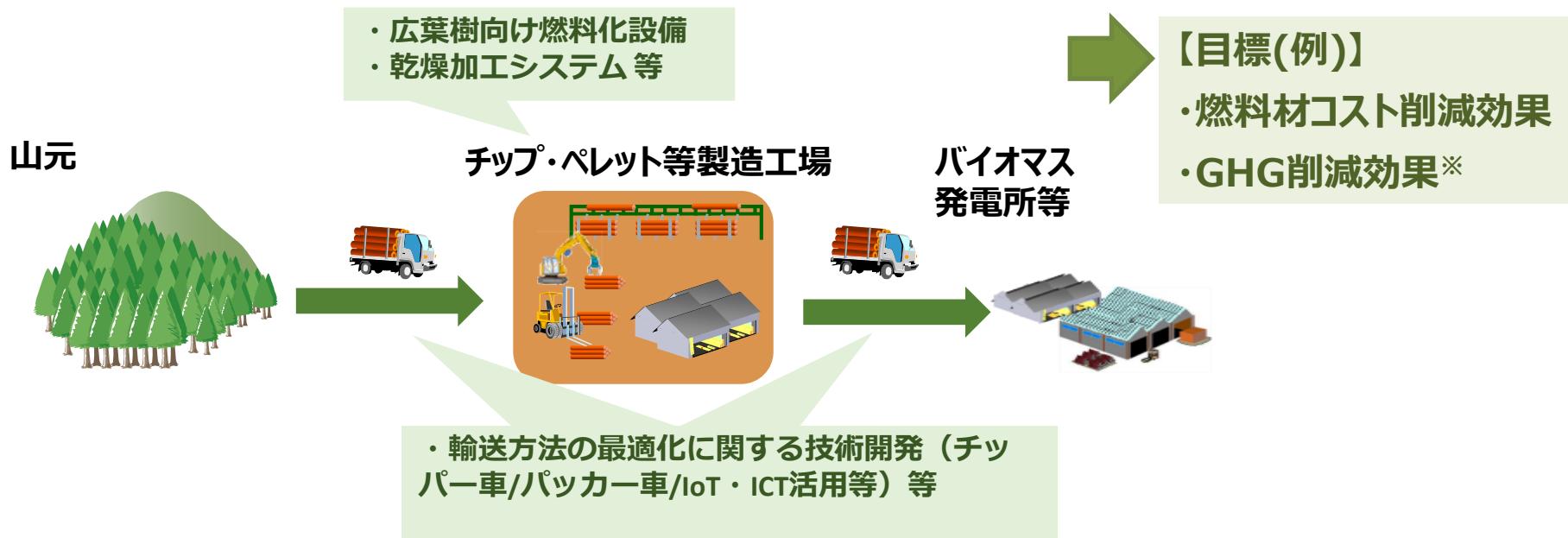
文字サイズは原則12pt以上

事業者  
ロゴマーク

#### (記載例)

「木質バイオマス燃料（チップ、ペレット）の安定的・効率的な製造・輸送等システムの構築に向けた実証事業」の場合

今回提案する実証事業内容について図表を用いて記載してください。記載に当たっては目標に対して各工程がどのように貢献するか具体的かつ定量的に記載下さい。（複数枚可）



※ 【参考】環境省によるガイドライン

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/index.html> 42

## 2. 実施計画の細目

### (4)事業内容

事業者  
ロゴマーク

#### (記載例)

①××××の検討（担当：□□□株式会社）  
.....

②××××の試験（担当：△△△株式会社）  
.....

③××××の設計（担当：○○○株式会社）  
.....

(1)②の事業目標を達成するために必要な実証事業の内容を説明してください。実証事業で克服すべき課題とその問題を解決する手段、今回の開発で達成できるレベルを、明確にかつ簡潔にできるだけ図表を使用して記入してください。共同提案の場合、それぞれの役割分担等を明示してください。

また、提案する実証事業内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。

# 3. 実施計画

文字サイズは原則12pt以上

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

上記「1.(3)事業内容」であげた各技術開発項目の実施計画を記載してください。

事業項目	FY2021		FY2022				FY2023				FY2024			
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発項目① “エネルギーの森”実証事業 1) ×××の検討  2) ×××の試験  3) ×××の設計														
研究開発項目② 製造・輸送等システムの構築に 向けた実証事業 1) ×××の検討  2) ×××の試験  3) ×××の設計														

4年以内

3年以内

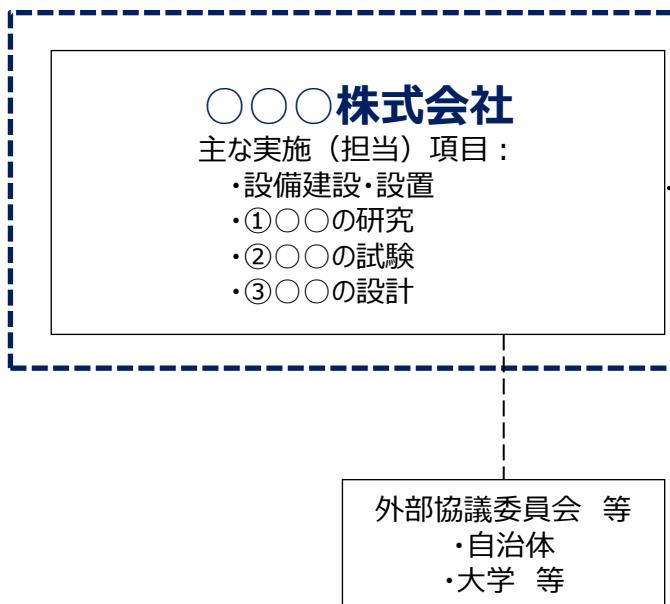
# 4. 研究開発体制等

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

研究体制図を記載してください。※

### 【助成対象】



### 【委託先】

必要に応じて記載

#### △△△株式会社

主な実施（担当）項目：  
・○○の分析・データ解析

再委託

(○○○○を委託)

### 【委託先】

必要に応じて記載

#### 国立大学法人□□□大学

主な実施（担当）項目：  
・○○の分析・データ解析

再委託

(○○○○を委託)

- ※ 共同提案の場合は技術力を有する極力少数の企業等による役割分担の明確な開発体制が望ましいです。
- ※ 再委託は認めておりません。

# 5. 助成事業に要する費用の内訳等

事業者  
ロゴマーク

(記載例)

文字サイズは原則12pt以上

助成先総括表を記載してください。共同提案を行う場合には助成対象となる事業者  
全てについて助成先総括表が必要です。

(単位：円)

項目	事業期間全体 (助成対象費用)	事業期間全体 (助成金の額)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度*
I. 機械装置等費	0	0	0	0	0	0
1. 土木・建築工事費	0	0				
2. 機械装置等製作・購入費	0	0				
3. 保守・改造修理費	0	0				
II. 労務費	0	0	0	0	0	0
1. 研究員費	0	0				
2. 補助員費	0	0				
III. その他経費	0	0	0	0	0	0
1. 消耗品費	0	0				
2. 旅費	0	0				
3. 外注費	0	0				
4. 諸経費	0	0				
IV. 委託費・共同研究費	0	0	0	0	0	0
1. 委託費・共同研究費	0	0	0	0	0	0
2. 学術機関等に対する共同 研究費	0	0				
合計 ( I + II + III + IV )	0	0	0	0	0	0
※助成金の額	0	0	0	0	0	0

\* 2024年度は研究開発項目①のみ記載

# 6. 研究開発への取組

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

**実用化を目指すまでの開発計画、投資計画、実用化能力を説明記載してください。**

(1)研究開発を考えるに至った経緯（動機）

(2)事業として成功すると考えた理由

**事業の新規性、独創性、他との競争力、生産計画、販売計画など具体的に述べてください。**

# 7. 研究開発への取組

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

実用化を目指すまでの開発計画、投資計画、実用化能力を説明記載してください。

### (3)事業化のスケジュール

助成期間終了後5年間の事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記述してください。

事業化の各段階において、事業化の中止や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記述してください。

また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。

生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

<研究開発項目①の場合>

※ 研究開発項目②の場合は2024年度から5年間を記載

年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
製品設計	---				
設備投資		---			
生産			---		
販売				---	
収益発生					◇続行／中断を判断

予想される重大な障害：

製品設計段階：~~~~~

設備投資 : ~~~~~

生産 : ~~~~~

販売 : ~~~~~

# 8. 市場の動向・競争力

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

### (1)市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

販売開始後5年経過までの国内と海外の市場規模推移（百万円）を示し、その根拠を記述してください。提案者のみの市場シェアにこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。

例：1年目（年度） 市場規模  
○○○百万円

2年目（年度） ○○○百万円

~~

5年目（年度） ○○○百万円

市場規模算出の根拠：~~~~~

# 9. 市場の動向・競争力

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

(2)競合が想定される他社の開発動向とそれに対する優位性の根拠

競合が想定される他社の製品・サービスに対し、予想される価格・仕様などを考慮して、自社製品・サービスの優位性の根拠を記述してください。

(3)価格競争力

競合製品・サービスの市場価格と自社製品価格の比較、損益分岐点など、価格競争力の算出根拠を記述してください。

# 10. 売上見通し

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

### (1) 売上見通し (単位: 百万円)

販売開始後5年経過までの売上と収益の見通しを記述してください。また、販売単価、販売数、原価など、売上と収益の算出根拠を記述してください。

	販売単価	販売数	売上	製品原価	収益
例 : 1年目 ( 年度)	○○万円	○○○個	○○○百万円	○○○百万円	○○百万円
2年目 ( 年度)	○○万円	○○○個	○○○百万円	○○○百万円	○○百万円
~~					
5年目 ( 年度)	○○万円	○○○個	○○○百万円	○○○百万円	○○百万円

### (2) 売上見通し設定の考え方 (算出の基本となる製品、サービス等の予定価格等を具体的に記述すること。)

どのような仕組みで収益を得るのか、投資額など収益の算出根拠を含め、収益計画を記述してください。

# 11. 事業性評価

事業者  
ロゴマーク

## (記載例)

- 事業期間中(実証事業終了後を含めて10年程度)の該当事業分及び会社全体の収入、支出のバランス

# 12. 今後の事業の展開

事業者  
ロゴマーク

今後の事業展開についての展望を記載ください。

(例)

- ・地域への貢献（自治体や地元企業との連携）
- ・自社事業への貢献、継続性

# 【補足資料】

事業者  
ロゴマーク

(例)

- ・将来構想の詳細
- ・技術的な根拠（計算式等）

# 添付資料 1. 助成事業実施計画書 別紙 1 - 抜粋 -



## (2) 助成先における研究体制

助成先名	○○○株式会社			
------	---------	--	--	--

主任研究者	氏名	フリガナ	所属・役職	
	*** * * *	△△ △△	○○部 部長	

経理責任者	氏名	フリガナ	所属・役職	
	*** * * *		経理部長	

事業	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○番地○号			
	(最寄駅:○○鉄道 ○○線 ○○駅)			

担当窓口	氏名	所属・役職	電話	FAX	E-mail
	*** * * *				

検査・支払	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○番地○号			
	(最寄駅:○○鉄道 ○○線 ○○駅)			

担当窓口	氏名	所属・役職	電話	FAX	E-mail
	*** * * *				

研究実施場所①	○○○ ○○研究所			
	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○番地○号			

e-Rad研究者番号を有しない場合は、空欄としてください。

登録研究員	氏名	フリガナ	e-Rad研究者番号	所属・役職	主な担当事業内容
	□ ○○ ○○				

主任研究者であっても未登録では労務費、旅費の計上はできません。

登録研究員	□ ○○ ○○				
	□ ○○ ○○				

時間単価の登録研究員は名前の前に□印を付けてください。

登録研究員	□ ○○ ○○				
	◆ ○○ ○○				

専従証明書を提出する登録研究員は名前の前に◆印を付けてください。

登録研究員	◆ ○○ ○○				
	▽ ○○ ○○				

労務費を計上しない登録研究員は名前の前に▽印を付けてください。

研究実施場所②	○○株式会社 ○○○センター			
	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○番地○号			

研究実施場所が複数ない場合は

主任研究者	「研究実施場所②」、「主任研究員」、「登録研究員」			
	の欄は省略するか空欄してください。	役職	課長	

登録研究員	氏名	フリガナ	e-Rad研究者番号	所属・役職	主な担当事業内容
	□ ○○ ○○				

主任研究者は、研究実施場所毎に登録が必要です。

研究分担先名／分室名	○○○株式会社			
	〒○○○-○○○○ ○○県○○市○○町○番地○号			

研究分担先、分室がある場合は、記載してください。

無い場合は、省略します。

主任研究者	氏名	フリガナ	所属・役職	
	*** * * *		○○学部 教授	

経理責任者	氏名	フリガナ	所属・役職	
	*** * * *			

## 項目別明細表（助成先用）

(4) ●●●●株式会社 項目別明細表(20 年度)

		積算基準(円)	助成事業に要する経費	助成対象費用	助成金の額(円)
I. 機械装置等費			0	0	0
1. 土木・建築工事費	○○土木・建築工事費	◎ 円 × H -	0	0	0
2. 機械装置等製作・購入費	○○製作設計費 ○○製作加工費 ○○試験装置 一式 ○○評価装置 一式 ○○作成装置 一式	◎ 円 × H -	-	-	-
3. 保守・改修修理費	○○装置改修費 一式 ○○装置保守費 一式	-	0	0	0
II. 労務費			0	0	0
1. 研究員費		◎ 円 × H -	0	0	0
2. 補助員費		◎ 円 × H -	0	0	0
III. その他経費		◎ 円 × 日 -	0	0	0
1. 消耗品費	○○薬品 一式 ○○実験器具 一式	-	0	0	0
2. 旅費	(1)研究員旅費 国内旅費一式 海外旅費一式 (2)専門家旅費 海外旅費一式	-	0	0	0
3. 外注費	○○ソフト開発外注	-	0	0	0
4. 諸経費	(1)機械リース料 (2)委員会費 委員謝金一式 委員旅費一式 (3)報告書等作成費 電子ファイル作成一式	◎ 円 × ヶ月 -	0	0	0
IV. 再委託費・共同研究費			0	0	0
1. 委託費・共同研究費	株式会社□□	-	-	-	-
2. 学術機関等に対する共同研究費 学校法人△△大学		-	-	-	-
合計(I + II + III + IV)			0	0	0

&lt;補助率 2/3&gt;

年度毎に作成すること

# 別添1.主任研究者の研究経歴書



事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を**主任研究者研究経歴書（様式1）**に記入し提出してください。

なお、**主任研究者は研究実施場所ごとに登録が必要**です（共同申請の場合、申請者ごとに最低1名は登録が必要です）。また研究員が主任研究者を兼ねることも可能です。

## 注意点

### ①研究開発経歴（現職含む）：

「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、**自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載**してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

### ②受賞歴、当該研究開発に関する最近5年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

- **当該研究開発プロジェクトに関連する研究成果を記載**してください
- 研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

# 別添2.NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票



下記のとおり提出くださいますようお願いいたします。

調査結果については、NEDO内において、厳重な管理の下で取り扱うこととしており、情報を外部に公表する場合には、統計処理するなど企業名が特定されないよう細心の注意を払わせていただきます。なお、本調査は採択審査に活用しますので、必ず提出をお願いいたします。

<b>対象者</b>	提案書の実施体制に含まれる全ての実施者（再委託先、共同実施先を含む）のうち、企業のみが対象です。技術研究組合については、構成する全ての法人のうち企業のみが対象です。 なお、同一年度において同一法人当たり一回の御協力をお願いします。他のNEDO事業公募時に提出している場合は、調査票の提出済み欄にチェックして提出ください。
<b>対象プロジェクト</b>	対象者が過去に実施したNEDOの研究開発プロジェクト（再委託先、共同実施先を含む）。 ただし、対象は、過去15年間（前身の特殊法人での案件を含む）のプロジェクト。 また、同一年度にNEDOへ企業化状況報告書を提出するもの、追跡調査にて御回答いただいたものは除きます。（補足QA参照）
<b>記入方法</b>	調査票に記入してください。 対象が5件以上ある場合には、売上や成果の活用面で高く評価できるものから5件（1者当たり）を対象者にて選定してください。 調査票は対象者ごと、プロジェクトごとに複製して利用ください。
<b>提出方法</b>	公募期限までに、対象者ごとにまとめて提出してください。
<b>問合先及び提出先</b>	提案書と同じ。
<b>その他</b>	記載いただいた内容に関して、問い合わせさせていただくことがあります。

# 別添2.NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票



- ・企業ごとに本票を複製して記入してください。
- ・実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数（最大5種）お書きください。
- ・提案書とは別にNEDOへ直接提出してもかまいません。

1. 今回提案するプロジェクト	○○プロジェクト
2. 企業名	○○株式会社
3. 記載免除条件	<p>＜下記に該当する場合チェックしてください。過去の実施実績欄の記載は不要です。＞</p> <p><input type="checkbox"/> 過去15年間、NEDOプロジェクト実施実績なし <input type="checkbox"/> 同一年度に既に他の公募にて提出済 (応募事業名：○○○技術開発 公募期間：平成○年○月○日～平成○年○月○日)</p>
4. 直近の報告	<p><input type="checkbox"/> 類似の調査にて報告済（調査名：○○に関する調査） <input type="checkbox"/> 同一年度追跡調査にて報告済（※プロジェクト終了後6年以内） (該当プロジェクト名：P00000 ○○技術開発) <input type="checkbox"/> 同一年度に企業化状況報告書（又は実用化状況報告書）にて報告済</p>
5. 過去の 実施実績①	<p>※過去15年以内に実施したNEDOプロジェクトの成果について記載してください。</p> <p><b>詳細は別添2を参照願います。</b></p>

書類	部数
提案書（様式第1）	法人ごとに1部
プレゼン資料（様式第1）	1部
助成事業実施計画書（添付資料1）	1部
企業化計画書（添付資料2）	法人ごとに1部
事業成果の広報活動について（添付資料3）	法人ごとに1部
非公開とする提案内容（添付資料4）	必要に応じて法人ごとに1部
主任研究者 研究経歴書（別添1）	1部
（あれば）本事業に当たる事業性評価（F S）結果報告書（参考資料）	1部
会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書） ※新エネルギー部と過去1年以内に契約がある場合は不要	法人（委託先含む）ごとに 1部
直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表 (貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書。大学等については、財務諸表などの決算報告書(事業報告書)を添付してください)	法人（委託先含む）ごとに 1部
NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票（別添2）※企業のみ	法人（委託先含む）ごとに 1部
e-Rad応募内容提案書	1部
国外企業等と連携などがある場合は、それに関する書類（公募要領 篇条4.(4)）	必要に応じて一式

提出書類ごとにそれぞれPDF形式で作成し、1つのzipファイルにまとめアップロードしてください

# 【品質規格策定事業（委託事業）】

## 提案書記入上の注意点

1. 提案書は、公募要領別添1の記載例に従って記入して下さい。
2. 提案書（様式第1）は本文（Word形式）と、プレゼン資料（PowerPoint形式）両者を作成ください。
3. 研究開発テーマは100文字以内として下さい。
4. 要約版は1枚以内にまとめて下さい。
5. 提案書本文にあたる部分は30ページ内で作成してください。  
図表等を活用し、判りやすく簡潔にまとめて御記載下さい。

「木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業／  
木質バイオマス燃料（チップ、ペレット）の品質規格の策定委託事業」

事業者  
ロゴマーク

**【発表資料作成の注意点】**

- (1)20分程度の発表を想定**
- (2)全体で20枚程度**
- (3)文字サイズは原則18pt以上**  
(個別で指定があるスライドを除く)
- (4)白黒印刷で調整するため、背景は白基調の色**

「〇〇〇〇〇事業」

2021年〇月〇〇日(〇)

〇〇〇〇〇〇〇 (法人名)

# 1. 提案者の概要

## (記載例)

(1)提案者名（法人番号）

(2)従業員数（うち研究開発部門従事者数）  
**従業員数は提出時点を基準としてください。**

(3)大企業・中堅・中小・ベンチャー企業の種別 **○○企業**

(4)現在の主要事業内容（主な製品等）  
**現在の事業内容（主な製品等）を記入してください。**

(5)資本金、売上高（直近3期分）、経常利益（直近3期分）

資本金	○○千円	○○千円
売上高	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）
経常利益	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）	○○百万円（2020年度） ○○百万円（2019年度） ○○百万円（2018年度）

## 2. 研究開発の内容・目標

研究開発の内容及び目標について、**具体的に記載ください。**

記載に当たっては、**仕様書に記載されている事項を最低限含む内容・目標としてください。**

また、**本品質規格の適用範囲（国産材や輸入材、燃料形態、利用形態など）を記載ください。**

### <仕様書 概要>

#### ① 品質規格と運用制度策定に係る調査

- 1) 国内業界の実態と考え方に関する調査
- 2) 海外の実態に関する調査
- 3) 早生樹等の活用に関する調査
- 4) 原料の材質及び成分に関する調査
- 5) 調査報告書と品質規格の作成

#### ② 品質規格と運用制度の策定

- 1) 品質規格の策定
- 2) 品質以外の重要事項の取扱に関する検討
- 3) 運用方法、認証の在り方、インセンティブ等に関する検討と運用制度の策定

#### ③ 品質規格の普及に関する取り組み

- 1) ガイドライン等の作成、シンポジウムや講習会の開催、品質規格試行運用の検討など

#### ④ 外部有識者による評価

### 3. 実施計画

NEDO事業以降の事業計画を含めて全体スケジュールを記載ください。

(記載例)

年度	2021 年度	2022 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	- - - - -
調査		調査 →				
規格策定		規格策定 →				
運用検討		運用検討 →				
実運用			実運用			
普及活動			普及活動			
改善						

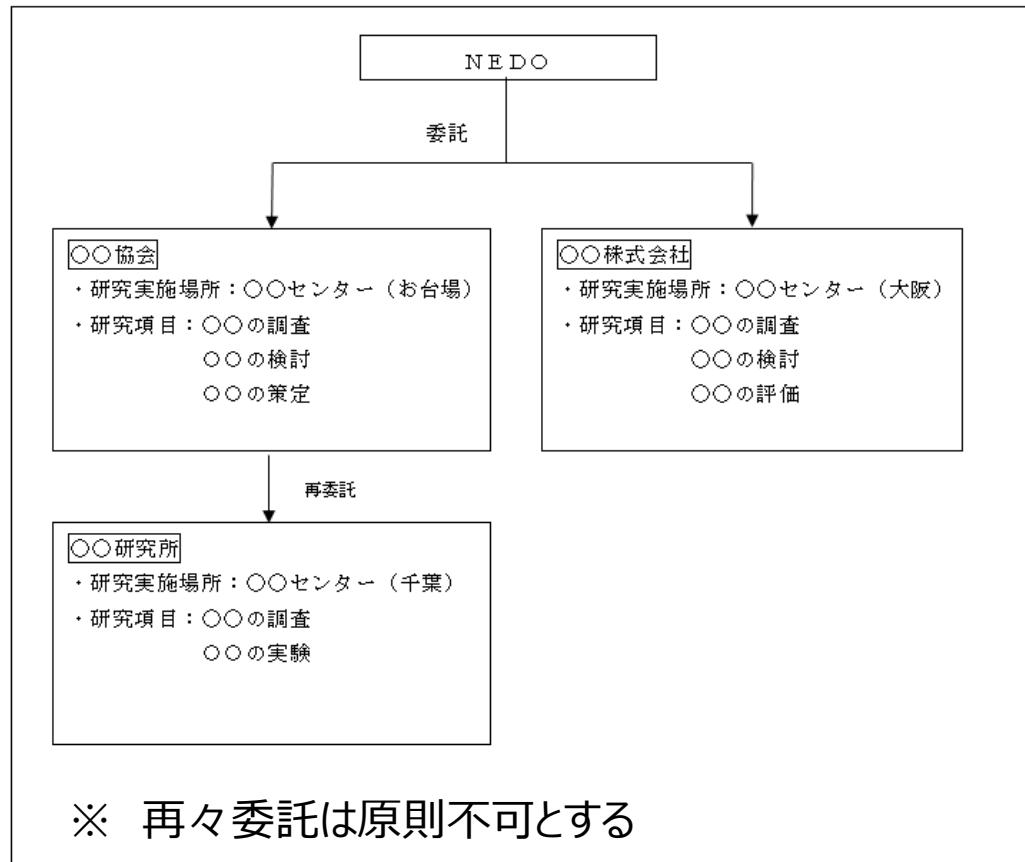
## 4. 研究開発成果の実用化・事業化の見込み

- 別添2「2. 実用化・事業化への取組み」を参考に、委託事業終了後の事業計画について概要を記載下さい。
- 共同提案の場合は、事業者ごとに記述して下さい。
- 現時点での計画で構いません。

# 5. 実施体制図

- 機関ごとに、研究実施場所、実施項目を記載ください。
- 共同提案の場合、他の共同提案先を含めて役割が分かるよう記入ください。

## (記載例)



## 6. 当該提案に有用な研究開発実績

研究開発テーマに沿って、提案する方式又は方法に関する国内外の状況、その中の応募者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する**関連研究開発の実績及びその位置づけ等**を、研究発表等を引用して記載し、提案内容を遂行できる能力を有していることを携わるすべての研究機関を対象に説明してください。

# 7. 研究開発予算と研究員の年度展開

何の研究開発項目をどのような手順で行い、どの程度経費が必要であるか記載ください

研究開発項目	2021 年度	2022 年度	計	単位：百万円
				( ) 内は人数
1. ○の品質規格策定				＊＊＊ (*)
1-1. ○○○○の調査		＊＊＊ (*) →		＊＊＊ (*)
1-2. ○○○○の検討		＊＊＊ (*) →		＊＊＊ (*)
1-3. ○○○○の策定		＊＊＊ (*) →		＊＊＊ (*)
合 計	＊＊＊ (*)	＊＊＊ (*)	＊＊＊ (*)	( )に投入される 研究員の 人 数 を記載ください。

共同提案の場合は、研究開発分担項目及び必要経費を分けて記入してください。

「間接経費」、「消費税」を含む金額を記載してください。  
(単位：百万円)

( )に投入される  
研究員の  
人  
数  
を記載ください。

# 8. 予算の概要①

事業者  
ロゴマーク

文字サイズは原則12pt以上

## (1) 総括表

研究開発に必要な経費の概算額を研究開発テーマごとに、総括表に記載して下さい。

委託先名	2021年度	2022年度	計
1. ●●株式会社	**, ***	**, ***	**, ***
2. 国立大学法人 ★★大学	**, ***	**, ***	**, ***
研究開発項目①合計 (1. + 2.)	**, ***	**, ***	**, ***
1. ●●●株式会社	**, ***	**, ***	**, ***
2. 国立大学法人 ★★★大学	**, ***	**, ***	**, ***
研究開発項目②合計 (1. + 2.)	**, ***	**, ***	**, ***
合計 研究開発項目①+研究開発項目②	**, ***	**, ***	**, ***
うち消費税及び地方消費税	**, ***	**, ***	**, ***
うちNEDO負担総額	**, ***	**, ***	**, ***
うちNEDO負担消費税等額	**, ***	**, ***	**, ***

# 8. 予算の概要②

事業者  
ロゴマーク

文字サイズは原則12pt以上

## (2) 委託先／研究分担先／分室総括表

- 研究開発テーマごとに、業務委託費積算基準に基づいて記載して下さい。
- 共同提案の場合は、各々作成下さい。
- **企業等、国立研究開発法人等、大学等**によって様式が異なります。

単位：円

項目	2021 年度	2022 年度	計 (積算内訳)
I. 機械装置等費			
1. 土木・建築工事費	規格策定ですので、 機械装置等費は原則認めて いません。 ** , ***	** , ***	*** , ***
2. 機械装置等製作・購入費	** , ***	** , ***	*** , ***
3. 保守費・改造修理費	** , ***	** , ***	*** , ***
II. 労務費	** , ***	** , ***	*** , ***
1. 研究員費	* , ***	* , ***	** , ***
2. 補助員費	** , ***	** , ***	*** , ***
III. その他経費	** , ***	** , ***	*** , ***
1. 消耗品費	** , ***	** , ***	*** , ***
2. 旅費	** , ***	** , ***	*** , ***
3. 外注費	** , ***	** , ***	*** , ***
4. 諸経費	** , ***	** , ***	*** , ***
小計 (I+II+III)	** , ***	** , ***	*** , ***
IV. 間接経費 <sup>(注1)</sup>	** , ***	** , ***	*** , ***
V. 再委託費・共同実施費	—	—	—
合計 (I+II+III+IV+V) <sup>(注2)</sup>	** , *** , ***	** , *** , ***	*** , *** , ***
消費税及び地方消費税 <sup>(注3)</sup>	* , *** , ***	* , *** , ***	** , *** , ***
総 計	*** , *** , ***	*** , *** , ***	* , *** , *** , ***

## 間接経費について

### 企業等

中小企業等 20%、その他  
10%

### 国立研究開発法人等

10%

### 大学等

15%

書類	部数
提案書 : 表紙 (別添1-1 : 2ページ目) ※複数法人提案の場合は各法人ごと	法人ごとに 1部
: 要約版 (別添1-1 : 3ページ目)	1 部
: 本文 (別添1-1 : 4~17ページ)	1 部
: プレゼン資料 (別添1-2)	1 部
研究開発成果の事業化計画書 (別添2)	法人ごとに 1部
業務管理者研究経歴書 (別添3)	1 部
会社案内 (会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書) ※新エネルギー部と過去1年以内に契約がある場合は不要	法人 (再委託先含む) ごとに 1 部
直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表 (貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書。大学等については、財務諸表などの決算報告書(事業報告書)を添付してください)	法人 (再委託先含む) ごとに 1 部
契約書 (案) について疑義がある場合は、その内容を示す文書	必要に応じて法人ごとに 1部
ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況について (別添4)	法人ごとに 1部
NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票 (別添5) ※企業のみ	法人 (再委託先含む) ごとに 1 部
e-Rad応募内容提案書	1 部
国外企業等と連携などがある場合は、それに関する書類(公募要領 箇条4.(4))	必要に応じて一式
事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票(別添6)	法人ごとに 1部

提出書類ごとにそれぞれPDF形式で作成し、1つのzipファイルにまとめアップロードしてください 73

**ご応募、お待ちしております。**